

防災のススメ

災害は、いつ襲ってくるか分かりません。被害を最小限に食い止めるためには、日頃の準備が大切です。

これから梅雨・台風の季節をむかえるにあたり、災害への備えについて、改めて確認してみましょう。

■問い合わせ 生活安全課 ☎ 64・6006



平成 25 年台風 18 号で発生した土砂災害（忠野）



各地域で自主的な防災訓練

災害に備える 3つのチェックポイント



- ① 事前に備える
 - モノを備える
 - 非常持出品の準備
 - 備蓄食料などの準備
 - 家具の固定（地震対策）
 - 火災警報器等の設置（防火）
 - ヒトが備える
 - 避難先や連絡方法の確認
 - 地域で協力した防災活動

- ② 情報を集める
 - 情報の集め方いろいろ
 - テレビ、ラジオ、インターネット
 - 防災行政無線
 - 各種の電子メール配信
 - 地域の特徴を知ろう
 - ハザードマップ

- ③ 適切に判断する
 - 避難について知ろう
 - 避難情報の種類
 - 緊急的な退避行動

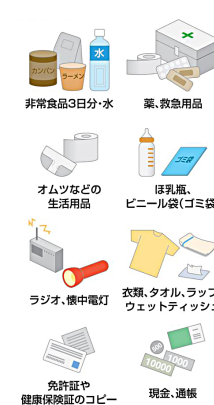
① 事前に備える

災害時に、身の安全を確保し、避難などの適切な行動をとるためには、事前の備えが重要です。

【非常持出し品】

避難時に最低限必要なものを用意します。非常食や水3日分、身分証のコピー、お薬手帳、ラジオなどをリュックにまとめて、すぐ持ち出せる所へ置いておきましょう。避難時に両手が自由に使えることが重要です。

（持ち出し品の例）



【備蓄食料など】

災害の長期化や自宅避難などに備えて、長期保存が可能なレトルト食品や缶詰、保存水などを備蓄しましょう。その際、栄養や嗜好、アレルギーなども考慮しましょう。

普段家で食べるものを少し多めに買い置きし、定期的に消費して、減った分だけ補充する「ローリングストック（回転備蓄）」は、備蓄と同時に期限の管理や調理方法の確認にもなります。

【家具の固定】

地震による負傷の約4割が、家具の転倒や落下によるものです。家具の固定や、配置を工夫し安全なスペースを確保するなど、防止策をとりましょう。

【火災警報器等の設置】

消防法に基づき、各家庭においても、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。早期に火災に気づき、命を守るために、必ず設置しましょう。

【避難先や連絡方法の確認】

災害は、いつ、どこで、どのような起こるかわかりません。日中、学校や職場等で災害が起きた場合、どこに避難するか、どうやって連絡するかなど、事前に家族で確認しておきましょう。

避難所の場所や避難経路のほか、「災害用伝言ダイヤル（171）」の使い方を覚えておくなどして、備えておきましょう。

また、近所に安否の確認先を伝えるなど、普段から地域で助け合いの輪を広げておくことで、被害の軽減や二次被害の予防が図られます。

③ 適切に判断する

【避難情報の種類】

市が発令する避難情報には3種類あり、緊急性が高い順に「避難指示（緊急）」、「避難勧告」、「避難準備・高齢者等避難開始」となっています。

これらの情報を見聞きしたら、避難を開始するなど、状況に応じた行動をとってください。

また、避難情報が発表されていない場合でも、必要だと感じたら、自主的な避難行動やその準備を始めてください。



【緊急的な退避行動】

日没後や、大雨で道路が冠水した場合など、災害の状況によっては、避難所への移動が危険を伴う場合があります。そうした場合は、必ずしも避難所への移動が安全とは限りません。近隣の頑丈な建物への緊急的な退避や、家屋の二階以上へ避難する「垂直避難」など、身を守る行動を優先しましょう。

② 情報を集める

災害から身を守るためには、まず、気象や災害の状況を把握することが必要です。情報を集める主な方法については次のようなものがあります。

【テレビ・ラジオ・インターネット】

天気予報や台風情報等を確認して、避難や準備の参考にしましょう。

【防災行政無線】

市からの注意喚起や避難情報などが放送されます。日頃から、アンテナを全部伸ばして受信しているか、放送が途切れていないか、電池切れのサインは出ていないかを確認しましょう。受信機は停電時でも、乾電池により最長で3日程度稼働します。受信機の電源ランプが赤と緑の交互に点滅するようになると、電池切れのサインです。

【携帯電話等の電子メール配信】

登録制のメール配信サービスとして、市が避難情報等を配信する「小浜市防災メール」、県が気象情報や河川水位などを配信する「i-ame（アイアメ）メール」などがあります。

また、緊急地震速報など、特に緊急性の高い情報について、該当する地域内の携帯電話に一斉配信される「緊急速報メール」（登録不要）もあります。

これらのメール配信サービスを利用することで、迅速な情報収集が可能となります。無料で利用できますので、ぜひ活用してください。

メール配信の登録はこちら

小浜市防災メール(市配信)

<https://mail.cous.jp/bousaiobama/>

i-ame メール (県配信)

<http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/>

【ハザードマップ】

洪水、津波などの災害の種類に応じて、想定される被害を地図に示したハザードマップを確認しましょう。自分が住む地域の特徴を認識し、災害リスクへの意識を持ちましょう。また、避難所の位置や、避難時の注意点などの情報も掲載していますので、あわせて確認してください。

ハザードマップは、「暮らしの便利帳」や市公式ホームページ、公民館などで確認できます。